



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	133,720	6.7	4,907	△15.1	5,321	△14.6	2,710	△15.1
27年3月期第2四半期	125,356	14.4	5,781	19.3	6,232	17.3	3,193	7.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,526百万円(△25.8%) 27年3月期第2四半期 3,406百万円(8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	54.87	—
27年3月期第2四半期	79.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	186,164	75,500	40.3
27年3月期	202,562	75,864	37.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 75,034百万円 27年3月期 75,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	52.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 48円00銭 記念配当 7円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	9.8	14,800	8.8	15,100	8.5	8,300	11.1	168.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	49,640,700株	27年3月期	49,640,700株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	235,515株	27年3月期	235,515株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	49,405,185株	27年3月期2Q	40,205,185株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府や日銀の財政・金融政策を背景に雇用情勢や設備投資の改善が進み、景気は緩やかな回復基調が継続いたしました。一方で、中国をはじめとした新興国経済の減速や下振れ懸念が高まり、そのあおりを受け株価も不安定に推移する等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、診療報酬改定及び消費税増税の影響が依然として病院経営の重しとなると共に、医療費抑制の社会要請に加え人件費や建築費の上昇、地域医療構想への対応等、様々な課題に直面しております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業におけるプロジェクト案件が期初計画に対して一部前倒しで計上されたとともに、メディカルサブライ事業におけるM&A実施、SPD新規受注等の拡大、調剤薬局事業における経営効率化が進捗したこと等から堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は133,720百万円（前年同四半期連結累計期間比6.7%増）、営業利益は4,907百万円（前年同四半期連結累計期間比15.1%減）、経常利益は5,321百万円（前年同四半期連結累計期間比14.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,710百万円（前年同四半期連結累計期間比15.1%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。また、第1四半期連結会計期間より、従来、「ヘルスケア事業」としていた報告セグメントは、「ライフケア事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、介護系施設等の新規開業が建築費の高騰等により減少傾向にあることから、一部メーカー製品の受注・販売が低迷いたしました。一方で、プロジェクト案件につきましては概ね計画通り進捗し、一部前倒しの計上となるとともに新規受注も拡大いたしました。また、重粒子線がん治療施設を管理運営する子会社を新たに設立し、当該施設の建築工事が8月に着工いたしました。

この結果、売上高は39,496百万円（前年同四半期連結累計期間比8.0%減）、セグメント利益（営業利益）は2,964百万円（前年同四半期連結累計期間比24.9%減）となりました。

②メディカルサブライ事業

メディカルサブライ事業におきましては、昨年M&Aを実施した循環器系を中心とした会社の業績が寄与したこと、新規のSPD業務受託施設が増えたこと等から増収となりました。

この結果、売上高は71,689百万円（前年同四半期連結累計期間比16.9%増）、セグメント利益（営業利益）は938百万円（前年同四半期連結累計期間比10.1%減）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、入居者数及び利用者数が継続して積み上がりましたが、計画達成までには至りませんでした。また介護報酬の大幅なマイナス改定が大きく影響いたしました。

この結果、売上高は10,000百万円（前年同四半期連結累計期間比1.7%増）、セグメント利益（営業利益）は61百万円（前年同四半期連結累計期間比56.2%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規店舗の開設及び在宅対応の強化を進めるとともに、経営資源の効率的配分等により好調に推移いたしました。

この結果、売上高は11,743百万円（前年同四半期連結累計期間比8.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1,092百万円（前年同四半期連結累計期間比30.9%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院事業は計画を若干下回り推移した一方、理化学機器の販売については計画通り推移いたしました。

この結果、売上高は790百万円（前年同四半期連結累計期間比82.2%増）、セグメント利益（営業利益）は62百万円（前年同四半期連結累計期間比15.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は186,164百万円となり、前連結会計年度末と比べて16,398百万円減少いたしました。その主な要因は、のれんが1,764百万円、建設仮勘定が1,413百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が18,762百万円減少したこと等によるものであります。

負債は110,663百万円となり、前連結会計年度末と比べて16,034百万円減少いたしました。その主な要因は、電子記録債務が1,457百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が14,289百万円、長期借入金が1,808百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は75,500百万円となり、前連結会計年度末と比べて363百万円減少いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が2,717百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が2,710百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は40.3%（前連結会計年度末比3.1ポイント増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは6,839百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比9,584百万円収入増）となりました。これは主に、仕入債務が14,797百万円減少し、法人税等を3,271百万円支払った一方、売上債権が20,177百万円減少し、税金等調整前四半期純利益を4,949百万円計上したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは4,313百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比689百万円収入増）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が778百万円あった一方、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が2,384百万円、有形固定資産の取得による支出が2,008百万円、長期貸付けによる支出が636百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは5,319百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比9,969百万円支出増）となりました。これは主に、配当金の支払額が2,717百万円、長期借入金の返済による支出が1,917百万円、短期借入金の純減少額が320百万円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて2,795百万円減少し、34,959百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成27年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載してお
ります。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が29百万円減少しております。また、当第2四半期連結累
計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,676	35,678
受取手形及び売掛金	72,636	53,873
電子記録債権	1,373	1,627
リース投資資産	4,365	4,267
商品及び製品	8,292	8,839
仕掛品	1,902	2,704
原材料及び貯蔵品	755	1,026
その他	8,151	8,700
貸倒引当金	△101	△73
流動資産合計	136,051	116,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,518	13,161
土地	8,595	8,587
建設仮勘定	750	2,164
賃貸不動産(純額)	12,706	12,572
その他(純額)	2,564	2,645
有形固定資産合計	38,135	39,131
無形固定資産		
のれん	10,173	11,937
その他	1,049	1,033
無形固定資産合計	11,223	12,971
投資その他の資産		
長期貸付金	7,195	7,554
その他	12,354	12,190
貸倒引当金	△2,478	△2,393
投資その他の資産合計	17,071	17,351
固定資産合計	66,430	69,454
繰延資産		
株式交付費	80	64
繰延資産合計	80	64
資産合計	202,562	186,164

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,707	52,418
電子記録債務	4,614	6,071
短期借入金	1,590	1,665
未払法人税等	3,316	1,931
賞与引当金	1,464	1,538
その他	11,466	11,265
流動負債合計	89,160	74,889
固定負債		
社債	2,060	2,055
長期借入金	29,569	27,761
退職給付に係る負債	1,914	1,940
資産除去債務	288	287
その他	3,705	3,729
固定負債合計	37,538	35,774
負債合計	126,698	110,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	20,385	20,356
利益剰余金	38,236	38,229
自己株式	△447	△447
株主資本合計	73,727	73,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,326	1,143
為替換算調整勘定	200	155
退職給付に係る調整累計額	54	43
その他の包括利益累計額合計	1,580	1,342
非支配株主持分	555	466
純資産合計	75,864	75,500
負債純資産合計	202,562	186,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	125,356	133,720
売上原価	109,075	117,824
売上総利益	16,280	15,896
販売費及び一般管理費	10,499	10,988
営業利益	5,781	4,907
営業外収益		
受取利息	163	153
受取配当金	42	49
負ののれん償却額	329	120
持分法による投資利益	—	12
貸倒引当金戻入額	—	99
その他	157	207
営業外収益合計	692	642
営業外費用		
支払利息	191	143
持分法による投資損失	3	—
その他	45	85
営業外費用合計	240	228
経常利益	6,232	5,321
特別利益		
固定資産売却益	3	0
補助金収入	59	4
その他	0	0
特別利益合計	63	4
特別損失		
固定資産売却損	7	2
固定資産除却損	8	11
投資有価証券評価損	284	303
その他	3	60
特別損失合計	304	377
税金等調整前四半期純利益	5,992	4,949
法人税、住民税及び事業税	2,596	2,040
法人税等調整額	158	143
法人税等合計	2,755	2,184
四半期純利益	3,236	2,765
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,193	2,710

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	3,236	2,765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139	△182
為替換算調整勘定	51	△44
退職給付に係る調整額	△20	△11
その他の包括利益合計	169	△238
四半期包括利益	3,406	2,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,353	2,472
非支配株主に係る四半期包括利益	53	54

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,992	4,949
減価償却費	957	1,263
のれん償却額	809	850
負ののれん償却額	△329	△120
持分法による投資損益(△は益)	3	△12
賞与引当金の増減額(△は減少)	△56	59
貸倒引当金の増減額(△は減少)	46	△113
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△33	22
受取利息及び受取配当金	△206	△202
支払利息	191	143
売上債権の増減額(△は増加)	11,364	20,177
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,265	△1,507
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,825	△14,797
リース投資資産の増減額(△は増加)	△3,644	93
その他	157	△748
小計	1,161	10,056
利息及び配当金の受取額	186	197
利息の支払額	△194	△142
法人税等の支払額	△3,898	△3,271
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,745	6,839
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△695	△248
定期預金の払戻による収入	537	778
有形固定資産の取得による支出	△4,835	△2,008
有形固定資産の売却による収入	10	14
無形固定資産の取得による支出	△346	△113
短期貸付けによる支出	—	△2
短期貸付金の回収による収入	0	60
長期貸付けによる支出	—	△636
長期貸付金の回収による収入	437	236
投資有価証券の取得による支出	△108	△3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,384
その他	△2	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,002	△4,313

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,797	△320
長期借入れによる収入	15,200	—
長期借入金の返済による支出	△2,344	△1,917
社債の償還による支出	△392	△110
配当金の支払額	△1,929	△2,717
非支配株主への配当金の支払額	—	△23
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	—	△150
リース債務の返済による支出	△84	△75
その他	—	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,650	△5,319
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,081	△2,795
現金及び現金同等物の期首残高	21,233	37,755
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,151	34,959

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	42,910	61,334	9,828	10,848	124,922	433	125,356	—	125,356
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	967	1,275	17	—	2,260	10	2,271	△2,271	—
計	43,877	62,610	9,846	10,848	127,182	444	127,627	△2,271	125,356
セグメント利益	3,949	1,043	39	834	5,867	54	5,921	△140	5,781

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△140百万円には、セグメント間取引消去47百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△191百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	39,496	71,689	10,000	11,743	132,930	790	133,720	—	133,720
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	623	415	28	—	1,067	11	1,078	△1,078	—
計	40,120	72,105	10,029	11,743	133,998	801	134,799	△1,078	133,720
セグメント利益	2,964	938	61	1,092	5,057	62	5,120	△212	4,907

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△212百万円には、セグメント間取引消去38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△229百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 第1四半期連結会計期間より、従来、「ヘルスケア事業」としていた報告セグメントは、「ライフケア事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第2四半期連結累計期間につきましても、当第2四半期連結累計期間と同様に「ライフケア事業」と記載しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、株式会社西野医科器械株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては2,495百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。